

質 問 書

※ この MS-WORD 文書のまま送付お願いいたします。(PDF 等のフォーマットへ変換しないでください)

2021 年 11 月 4 日

「(案件名) カンボジア国カンボジア日本人材開発センター起 業家育成・ビジネス交流拠点機能拡充プロジェクト フェーズ2(ビジネスコース実施)」

(公示日: 2021 年 10 月 20 日/調達管理番号: 21a00742)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P. 20 第 6 条 実施方針及び留意事項 (6) 収益事業の発展強化	・新たな取り組みとして始める予定の 3 つのサービス展開の内、本業務範囲に該当するものが「経営塾」と記載されていますが、「現地講師によるビジネスコースの地方展開」は、CJCC 職員及び長期専門家が主体となって推進する業務と考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。運営に資する部分的な助言が求められる場合は支援いただきたいと思います。ビジネスコースの地方展開にかかる実際の業務推進は CJCC 職員が主体 (長期専門家はサポート) となって実施することを想定しています。
2	P21 第 6 条 実施方針及び留意事項 (9) 現地活動費用の切り分け	・オンラインでの講義に必要な会場借上費 (機材含む) や技術サポート費も見積りに含めてよいでしょうか。	実施に必要な場合は見積りに含めて下さい。
3	P. 22 第 7 条 業務の内容 (3) ビジネスコースの実施	・来年もコロナ禍の状況によっては、プロジェクト初年度 (2022 年度) の渡航回数が確保できず、オンラインでの講義実施比率が高くなり、一方、2023 年度以降は、渡航回数が増えてオフラインでの講義実施比率が高くなることが想定されます。ここで提示されているオンライン/オフラインの比率は、プロジェクト全体の期間を通してのアベレージの比率なのか、それとも各年度毎にこの比率で講義を実施することを想定されているのでしょうか。	ご指摘のとおり、引き続きコロナ禍の影響で遠隔実施とせざるを得ない場合も起こり得ますが、現時点では、年度ごとの比率としてご検討下さい。

4	P.22 第7条 業務の内容(3) ビジネスコースの実施	・オンラインでの講義の実施については、遠隔講義システムを活用したリアルタイムの講義を想定しているのか、もしくは、E-learning システムを使った学習を想定しているのでしょうか。またそれらを併用する場合は、使用の割合の目安などがあればご教示願います。	オンラインでの講義については、遠隔ツールを使用したリアルタイムの講義となります(オフラインで実施する代わりにオンラインで実施するものです)。E-learning システムを使用した自主学習のみで代替することはなく、E-learning のオンラインコンテンツを部分的に講義に活用する、コース時間外の自主学習の材料とするといったことは考えられます。E-learning のオンラインコンテンツを併用(講義内で活用)する場合の、使用の割合の目安は定めていません。
5	p.23 第7条 業務の内容(3) ビジネスコースの実施 1) ビジネストレーニングコース ②経営塾	・科目はインテンシブコースの主要科目をベースに構成予定とありますが、主要科目とは、人材管理、品質管理、生産管理、経営戦略、マーケティング、オペレーションマネジメントの全ての科目のことでしょうか。	想定としてはご理解のとおりです。実際の実施にあたっては、CJCC 側の現地ニーズに応じてご相談いただきながら構成や具体的な内容を詰めていただくこととなります。
6	P.23 第7条 業務の内容(3) ビジネスコースの実施	・コンサルタントは日本人講師担当コース以外についても品質管理を行う、との記載があります。具体的にどのような品質管理を想定されているのかご教示願います。	TOT プログラムによる現地講師育成にも鑑み、現地講師が担当する講義についても、講義内容や進め方を含め、参加者の満足度を維持できるよう工夫いただきたいと考えております。
7	P.24 第7条 業務の内容(3) ビジネスコースの実施 各コースにおける具体的な業務内容 3 <u>モニタリング/教訓抽出</u>	・3.6において、教材・指導要領の作成と更新を積極的に進める科目として、ビジネストレーニングコースに記載のない「財務戦略」が想定されている理由をご教示願います。仮に「財務戦略」の教材・指導要領を作成する場合は、CJCC に特化したものを作成するのか、あるいは他日本センターにも活用できるものを作成するのか	・教材・指導要領の積極的な作成と更新にかかる科目について、マーケティングおよび財務戦略の2点がCJCCから希望として出された内容となります。CJCCは今後、スタートアップ、起業家、中小企業等を対象に、金融アクセスにかかる支援にも取り組む意向です。現地企業にとって財務戦略は重要な課題の1

		確認したくお願いします。	つであり、現状の主要科目ではなくとも、講義に含まれる可能性は大きいと考えられます。しかし、あくまで現時点での想定となりますので、実際には CJCC と最新の状況を踏まえて進めていただくことが重要となります。 ・教材・指導要領は、他日本センターでも活用できる内容および CJCC に特化した内容の両方を含むものと考えています。
8	P. 25 第7条 業務の内容(4) 本邦研修の企画・実施	<ul style="list-style-type: none"> ・経営塾本邦研修概要の表内記載の実施回数について、2022-2025 年度ではなく、2022-2024 年度の計3回との理解でよろしいでしょうか。 ・本邦研修の期間 8 日間は日本到着と出国の日を含めるのでしょうか。もし含める場合、研修実施にあてる日程が5~6日間と短くなります。2都市程度の日程案を提案することとの記載がありますが、企画内容によっては実施場所を1都市に絞る提案も可能でしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本邦研修の実施予定年度は、ご指摘のとおり2022-2024年度の計3回です。 ・8日間(予定)は、日本着から日本発までの日数を換算しており、到着と出国の日を含みます。研修の内容により、1都市に限定することが効果的であるという場合は、提案内容と併せてその優位性/メリット及び費用/コストについての説明を必ず記述してください。 <p>なお、一般論として、「コンサルタント等契約におけるプロポーザル作成ガイドライン」の3頁にあるとおり、企画競争説明書の内容と異なる内容の提案については、これを認めています。(その場合、提案内容と併せてその優位性/メリット及び費用/コストについての説明を必ず記述願います。)</p>
9	P. 25 第7条 業務の内容(6) 国内外の協力講師の発掘、モデル試行	・カンボジア国内外で発掘する講師候補とは、日本人講師でしょうか。それとも、TOT で育成される現地講師や第3国の講師のみを想定しているのか、具体的な講師候補の事例があればご教示ください	講師候補については、国籍は特に限定いたしません。講師として従事できる経験・能力、クメール語または英語能力などが重要です。現地や本邦企業の経験豊富な人材などが一例となります。

		い。	
10	P. 25 第7条 業務の内容(5) 現地講師育成研修の実施 P. 26 第7条 業務の内容(7) E-learning事業の企画・実施	・(5)に、「また、作成済みの主要3教科のテキスト及び指導要領、現在 E-learning で活用可能な、カイゼン、経営管理、生産管理、人材管理などのビジネスコースのオンラインコンテンツを、現地講師が講義内容について学習するためのツール」とありますが、オンラインコンテンツは、現地の講師・受講者が利用しやすい現地語化されたコンテンツが既にあると考えてよいでしょうか。もしくは(7)で現地語化する必要があるのでしょうか。本案件内で現地語化する場合は、CJCC側にそのための開発費が計上されているのでしょうか。	既に作成済みのオンラインコンテンツについては、現地語化作業を進めております。また、作成中のオンラインコンテンツについても、現地語化を行う見込みですが、同コンテンツの現地語化については、プロジェクト予算(業務実施契約の範囲外)の費用計上を予定しております。
11	P. 26 第7条 業務の内容(7) E-learning事業の企画・実施	・「コンテンツの企画・開発・運用に係るCJCC職員の育成を行う。」とありますが、コンテンツの開発については、CJCC職員自らが実施できる範囲で行うのか。もしくは、CJCCにてコンテンツ開発費が別途計上されているのでしょうか。	コンテンツ開発にかかる経費については、現時点では本業務実施契約の見積もりに含めず、必要になった時点で、内容、数量の詳細とともに経費の計上方法についても協議させていただければと思います。
12	全般	・本説明書において、人材育成・交流に対するプラットフォーム化とあり、これには今後Webサイトの活用が有効と考えられるが、現状CJCC及び他日本センターにおいて、Webサイトを開発・運営できる適切な人材が既に配置されていると考えて良いでしょうか。	CJCCでは、PR、情報発信等の目的でWebサイトを活用しています。Webサイト内容の新規作成や大幅な変更については、CJCCの各業務チーム(PR、CJBI、教育文化など)およびITチームがコンテンツの内容・デザイン等の基本コンセプトを作成した上で、外部企業による制作・変更・修正等のサポートを受けています。

			軽微な変更・追加については CJCC 内の上記チームにて対応しています。
--	--	--	--------------------------------------

以 上